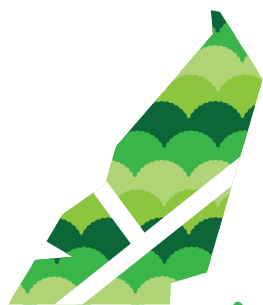




# やんばる3村ルールブック

人・自然・文化・大切な地域の資源をずっと残していくためために守ってほしいことがある



YAMBARU

奇跡の森「やんばる」を世界自然遺産へ。

# やんばるで気持ちのいいひとときを。

沖縄本島北部3村（くにがみそん 国頭村、おおきみそん 大宜味村、ひがしそん 東村）にまたがる「やんばるの森」では、豊かな自然環境や文化・歴史が長い間育まれてきました。

これは、地史など自然の成り立ちだけでなく、地域住民の暮らしの賜物たまものなのです。

将来にわたってたくさんの方々に、この「やんばるの森」をはじめとした地域の魅力を感じてもらうため、自然環境の保全と適正な利用を進めることが大切です。

皆様のご理解とご協力をお願いします！

## 目次

- ・ やんばるの森フィールドマップ (2)
- ・ 関係法令 (3)
- ・ 共通ルール (4)
- ・ 生き物に関するルール (6)
- ・ 自然体験スポット毎のルール (7)
- ・ 住民の暮らしとプライバシーへの配慮 (9)
- ・ 装備と緊急時について (11)
- ・ 問い合わせ先等 (12)



## Rule of visiting the Yambaru Field

# Field map of the Yambaru forest

やんばるの中でも、特に北部3村に残された豊かで貴重な自然「やんばるの森」。

それぞれの特色を楽しみ、感じる事が出来ます。

そこに暮らす人々や多くの生き物たちにも思いを巡らせながらお邪魔する気持ちで訪れてみましょう。

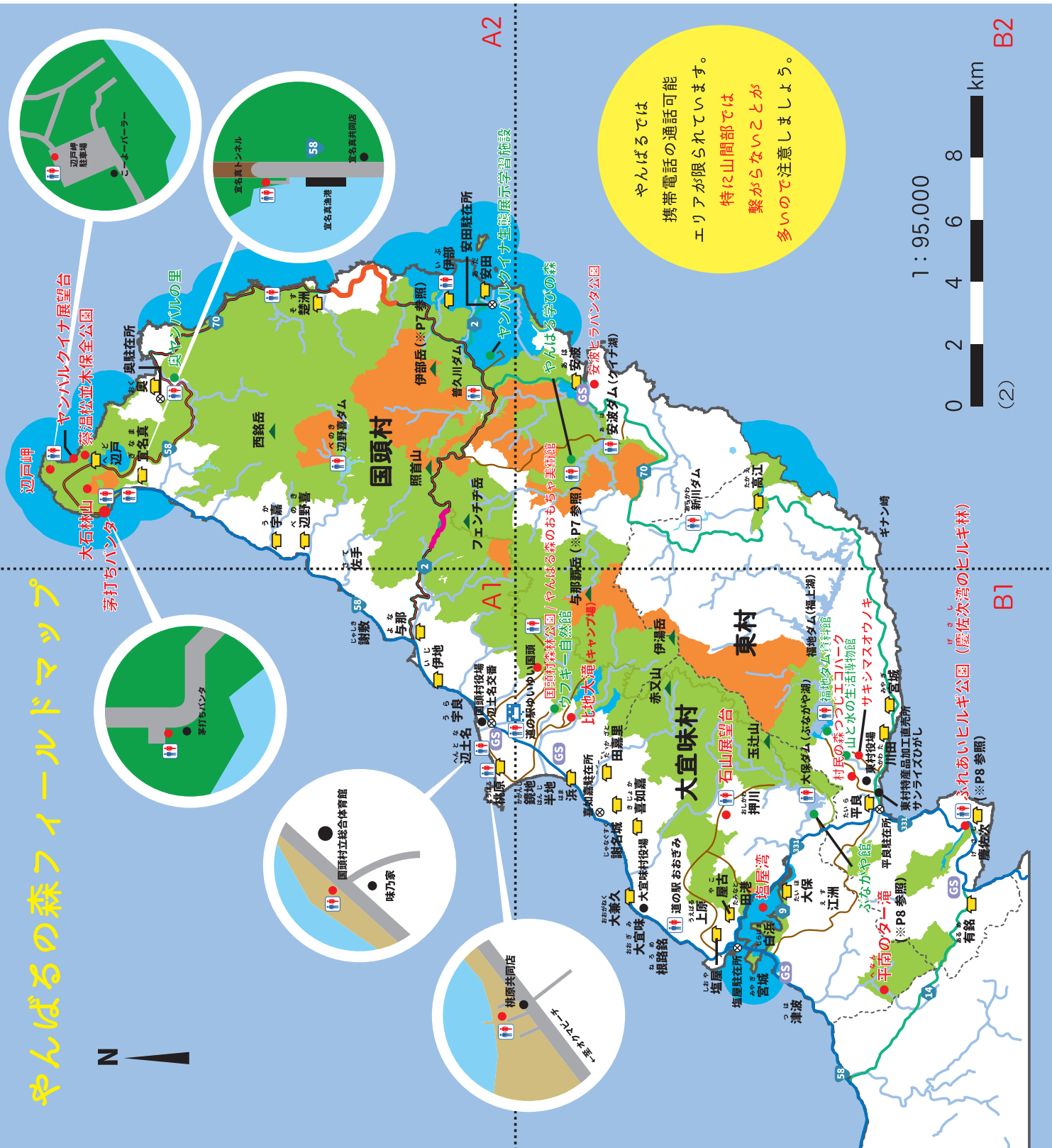
## 地図凡例

- 見る・遊ぶスポット
- 学ぶスポット
- 🚶 公共トイレ設置施設
- 🏠 共同売店
- GS ガソリンスタンド
- 🔌 EV充電スタンド (電気自動車)
- ロードキル重点区間
- ヤンバルクイナ交通事故防止重点区間
- ケナガネズミ交通事故防止重点区間

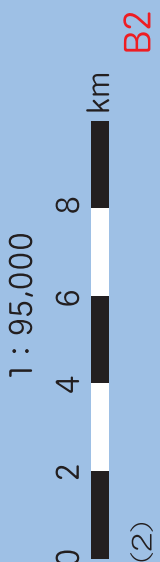
## やんばる国立公園

- 🟠 特別保護地区
- 🟢 特別地域
- 🟡 普通地域

# やんばるの森フィールドマップ



やんばるでは携帯電話の通話可能エリアが限られています。特に山間部では繋がらないことが多いので注意しましょう。



# 関係法令

## 自然公園法（やんばる国立公園）

平成28年9月15日、国頭村、大宜味村、東村（通称：やんばる）は、国内33箇所目の国立公園として「やんばる国立公園」に指定されました。同法で定める「特別保護地区」では、木竹の損傷、動物を放つこと、たき火、植物の採取、動物の捕獲、車の乗入れ等が規制されています。規制の基準に反した場合は6カ月以下の懲役又は50万円以下の罰金が科されます。

## 種の保存法（国内希少野生動植物種）

オキナワマルバネクワガタ、オキナワイシカワガエル、イボイモリ、ヤンバルテナゴコガネなどの国内希少野生動植物種の捕獲などを禁止するほか譲り渡しや販売・頒布を目的とした陳列・広告を禁止しています。

違反すると5年以下の懲役(個人)又は500万円以下の罰金(法人の場合は1億円以下の罰金)が科されます。

## 文化財保護法（天然記念物）

ヤンバルクイナをはじめとする天然記念物の捕獲などは文化財保護法で禁止されており、違反すると5年以下の懲役又は30万円以下の罰金が科されます。

## 動物愛護法（ネコ・イヌなど）

犬や猫などの愛護動物を捨てるなど100万円以下の罰金が科されます。犬や猫などの愛護動物を殺傷した場合、2年以下の懲役または200万円以下の罰金が科されます。

## 鳥獣保護管理法

鳥獣保護管理法では、許可を受けた者以外、鳥獣及び鳥類の卵は、捕獲等又は採取等をしてはならないことになっています。違反した場合は、最高で1年以下の懲役または100万円以下の罰金が科せられます。また、やんばる地域では国指定鳥獣保護区（安田、安波）及び県指定鳥獣保護区（大保、西銘、佐手、与那覇岳）が設置され、生息する鳥獣の保護を図るとともに、管理員等が昼夜巡視し、メジロの密猟などを取り締まっています。

## 外来生物法（特定外来生物）

マングースなど特定外来生物に指定されている動植物は飼ったり生きたまま運搬すること等が禁じられています。やんばる地域ではツルヒヨドリというツル性植物が見られ、冬に無数の小さな種子をつけるため、服などに付いて運ばれ、生態系に更なる悪影響を及ぼすことが懸念されます。

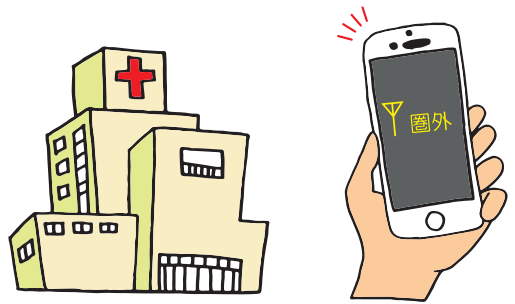


# 共通ルール

やんばるの自然を存分に楽しんでもらううえで守って欲しいルールは以下の通りです。

## 自然の中では自己責任で

やんばるには、崖などの危険な場所やハブやハチなどの有毒な生物、肌に触れるとかぶれる植物などが多  
い一方で、医療機関が少なく、搬送まで時間がかかります。また、携帯電話が繋がらない場所もあります。散策される場合は地元ガイドを利用することを推奨します。



## ごみは持ち帰る

ここはゴミ箱ではありません。自分が持ってきたものには責任を持ちましょう。特に生ごみは野生生物への餌付けにもつながり、生態系への悪影響が懸念されます。また、プラスチックや金属類などは分解されずに地中に残ってしまいます。



## 事前にトイレは済ませておく

森の中にはトイレは無いので、森に入る前にトイレは済ませましょう。人の排泄物は、不衛生であるだけでなく、野生生物を誘因してしまうおそれもあり、使用済みトイレットペーパーは森の中で溶けずに残ってしまいます。心配であれば携帯トイレを持参し、そこに何も残さないようにしましょう。



国頭村森林公園のトイレ

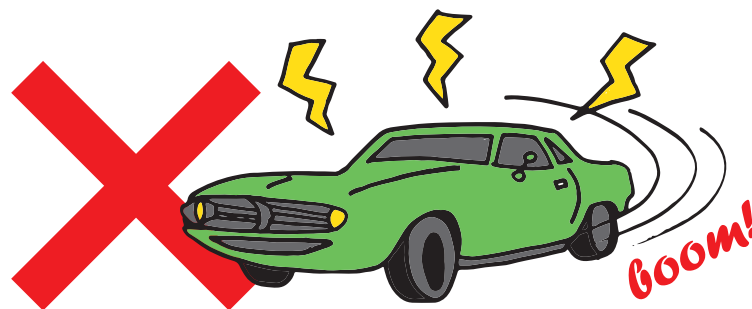


よなほだけ  
与那覇岳駐車場のトイレ



## 迷惑行為はしない

山も海も、住民にとって自然は暮らしに身近な場所です。大きな声や音を出すと近くに住む方々の迷惑になる場合があります。大音量でのカーステレオの使用や、花火など音が出るもの、ドリフト走行などはやめましょう。



## 舗装されていない場所にむやみに車両・バイクを乗り入れない

乗り入れた先に道はなく、ぬかるみや段差がある場合も多いので危険です。さらに、やんばるの森に住む動植物が踏み潰されたり、密猟や盗掘を助長するような道ができてしまいます。また、農地を含め私有地に続く道の可能性もありますので注意願います。場所によっては車輛の乗り入れが法律で禁止されています。



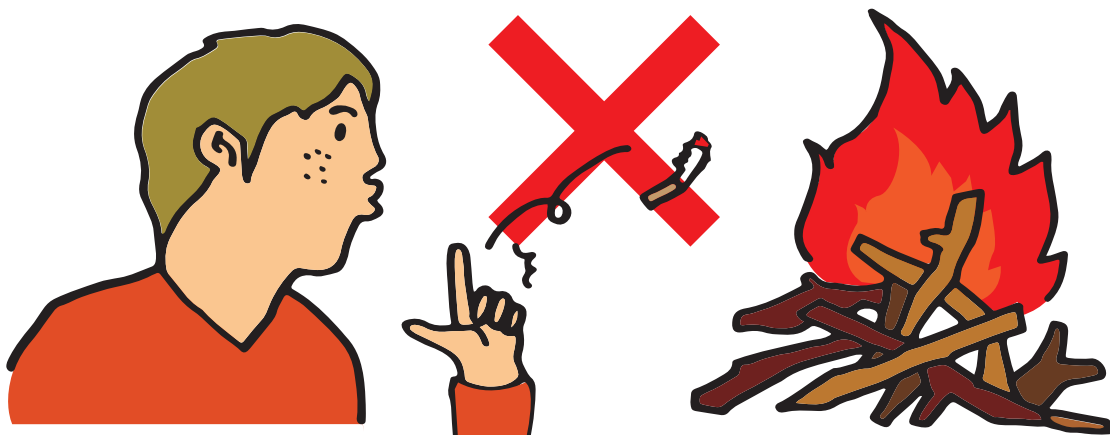
## 道を外れて森の中に入らない

森の中には、基本的に登山道等は整備されていません。遭難につながったり、希少な動植物を踏みつぶしてしまったりする可能性があります。また、ハブなどの危険生物に遭遇する可能性も高まります。



## 火を使わない

キャンプ場等の許可された場所以外での焚き火やタバコのポイ捨てはやめましょう。山火事の原因になります。また、場所によっては法律で禁止されています。





# 生き物に関するルール

やんばるの自然はとてもぜい弱で、絶滅が危惧される動植物がたくさん暮らしています。この豊かな自然をずっと残していくためのルールを紹介します。

## 動植物をとらない

動植物をとったり踏みつけたり、トラップを設置したりするのはやめましょう。少しだけなら大丈夫という気持ちは禁物です。



## 動物を脅かさない

夜間に懐中電灯で生き物を執拗に照らしたり、大きな音をたてるなどの行為は控えましょう。人からの刺激がパニックや子育て放棄につながる事があります。

(ノグチゲラ、ヤンバルクイナ等)

また、これらの行為は近くに住む方々の迷惑になる場合があります。



## 動植物を持ち込まない

やんばるにいない生き物(外来種)やペットを捨てないようにしましょう。かわいいペットも野外に放たれると、やんばる在来の希少な動植物の捕食者になってしまいます。また、外来種は生態系のバランスを崩す恐れがあります。



## ストップ!ロードキル

やさしい運転をしましょう。ロードキルが発生しています。

特に東海岸側の県道70号線、やんばる東西を横断する県道2号線は要注意です。

※ヤンバルクイナは早朝と夕方、夜行性のケナガネズミやリュウキュウヤマガメは夜間にロードキルが起きています。

やんばるの森に住む生きものの暮らす場所と、人が利用する道路の位置が重なっていることで、ロードキル(交通事故)が起こります。

もしそこでひかれているのが、自分の家族やペットだったら…

道路を利用するほかの生きものたちへのほんの少しの心遣いが、ロードキルによる生きものの被害の防止、運転される方の安全に繋がります。

環境省やんばる自然保護官事務所 自然保護官



# 自然体験スポット毎のルール

やんばるに残された豊かな自然を体験できる各村の体験スポットごとに注意してほしいルールを紹介します。やんばるの森にはハブなどの毒を持った生物や、肌に触れるとかぶれる植物が多いので注意が必要です。また、この大自然を満喫してもらうためにも、ガイドの同行をお勧めします。

## 国頭村内

### 【与那覇岳】(Map : B1右上)



照葉樹林で覆われた沖縄島最高峰の与那覇岳(標高503m)は、固有で希少な動植物が多く生息・生育する場所です。看板のある広場看板のある広場(写真上)より上は、法律により厳正な保護が求められています。立入り制限にご協力ください。

2005年、私達にもできる保護活動の一つとして、与那覇岳9合目に土地を買い、野生生物の保護区にしました。先人たちが自然を活用し育んできたこの森は、生物の宝庫。地球的にもかけがえのない地域であり、これから先、次世代につなげていかなければなりません。そのために私たちがまず一番にすることは、森を知り好きになること。多くの野生生物が、森であなたを待っています。

NPO法人やんばる森のトラスト 市田 豊子

### 【伊部岳】(Map : A2中央)



オキナワウラジロガシの大木は、沖縄の名木百選にも認定され、地元の方々にも大切にされています。登ったり根を踏みつけたり、木を傷める行為をしないでください。

オキナワウラジロガシの大木より先に行くことは危険です。立入りを控えてください。

自然を満喫する観光や自然を守る活動が増えています。私たちの食と暮らしは、色々な生きものと関わり合う生態系の恵みによって支えられています。生物たちとの繋がりを守り、上手く自然と触れ合うために、ガイドを活用しましょう。

やんばるエコツーリズム研究所 中根 忍



# 大宜味村内

【ター滝】(Map : B1左下)



川では小さな不注意から生命に関わる重大な事故につながる恐れがあります。履物はリバーシューズ又は濡れてもよい運動靴などを用意しましょう。

荒天が予想される場合、雷注意報以上の注意報・警報が発令された場合は駐車場を閉鎖する場合があります。

詳しくは平南川ター滝駐車場  
(080-9851-0359)へお問い合わせください。

ライフジャケットの着用を推奨します。

ター滝の上に登る事は大変危険なため登らないでください。

# 東村内

【慶佐次湾のヒルギ林】(Map : B1下)



カヌーに乗る場合は、事前にガイドツアーを予約してください。

ヒルギ林内や干潟に直接立ち入らず、遊歩道からマングローブをお楽しみください。

釣りをしないでください。

他の利用者に危険を及ぼす可能性があるため、木道上でのローラースケート、ローラブレード、スケートボードや自転車等の使用を禁じます。



安全のため、川に係留しているカヌーや陸上に置かれているカヌーでは遊ばないでください。



# 住民の暮らしとプライバシーへの配慮

やんばるの見どころには人の暮らしととても近い場所が多くあります。住民の暮らしとプライバシーに配慮して楽しみましょう。

## 集落周辺や山道では特に速度を落とす

大きな道路からすぐそばに、住民が暮らす集落がたくさんあります。また、大きな道路であっても、そこは農作業など仕事に向かう暮らしの道でもあるのです。住民が運転する作業用トラックやバイクを煽るなどの行為は絶対にやめて、制限速度を守った安全で快適な運転をお願いします。



## 車は住民や交通の迷惑にならない場所に停める

やんばるには、駐車場と勘違いする私有地や集落で管理している土地などがたくさんあります。駐車する際には住民に確認して下さい。また、やんばるの道はカーブが多く見通しが悪い為、路上に駐車すると危険です。アイドリングもやめましょう。



## 民家への立ち入りや覗き見はしない

集落散策や民家周辺で撮影を行う場合は、住民のプライバシーに配慮しましょう。公民館などの施設は、住民の暮らし・活動の為に管理されているものですので勝手に使わないでください。また、民家だけでなく、集落から離れた山道沿いの農地などへの立ち入りも同様です。ご注意願います。



## 地元の住民には「お邪魔します」の気持ちで

挨拶をきっかけに会話も弾み、観光がより思い出深いものになるはず。道を尋ねるときも同様です。また、集落を紹介する地元ガイドがいる場所もあるので、是非、活用下さい。

よな  
与那集落のひと、特におばあは人懐こい方が多く、「いちやりばちよーでー」(一度会ったら皆兄弟の意)の心を大事にしています。知らない方にも気軽に声をかけることがあります。地元のひととの交流を楽しんでもらえると嬉しいです。

国頭村与那区長 宮城 忠信



## 拝所(うがんじょ)など、神聖な場所には敬意を払う

伝統的儀式などでの無遠慮な見学や写真撮影等は控えましょう。見学する位置によっては儀式に支障が出る場合があるので、注意しましょう。

また、猪垣や炭がまなどの遺構(いごころ)は地域の歴史を物語る財産となっています。崩したりしないようにしてください。



国頭村比地区小玉森にある拝所(ユーガミ)



## 地域での取り組みにご協力を



国頭村安田区の看板

あだ  
安田区では、集落として規則などのルールを定め、海浜への車輛乗り入れや希少種の捕獲等の迷惑行為を禁止するなど、豊かな自然を守るための取り組みを積極的に行っています。また、これら様々な活動に役立てるため協力金も募っています。是非、ご協力下さい！

# 装備と緊急時について

## 遭難に注意!

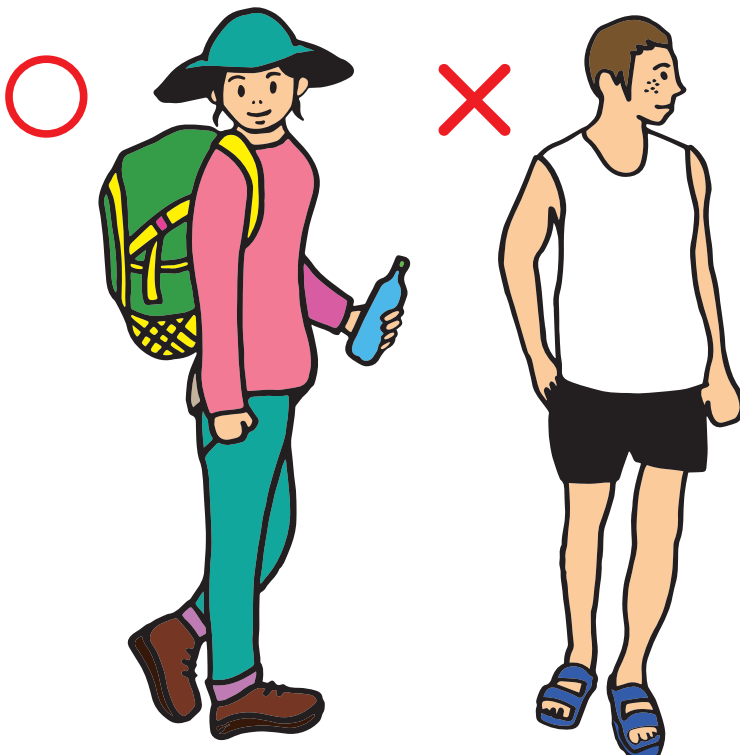
やんばるの森には、基本的に登山道等は整備されていない一方で、かつて暮らしに使っていた道やマングース対策のための作業道があり、迷いやすくなっています。遭難しないためにも、不用意にわからない道を歩かないようにしましょう。また、森の中は草木が深いため、想像以上に暗くなるのが早いです。早めの下山を心がけてください。

## 十分な装備で楽しみましょう

- ・ 滑落やハブなどの危険生物への対策として、しっかりとした登山靴を履きましょう。サンダルはNGです。
- ・ 強い日差しや枝葉から頭を守るために帽子をかぶりましょう。
- ・ 登山時は長そで長ズボンで（暑さ調整できるように！）怪我だけではなく、毛虫やアブ・ハチなどによる虫刺されも予防できます。
- ・ 両手が使えるようカバンはリュックサックで。
- ・ 雨具・携帯電話を携行しましょう。
- ・ 熱中症、脱水症対策として、必ず行動食と飲料水を携行してください。
- ・ 虫除けや日焼け対策をしっかりと。

## CHECK!

森にはこんな危険な道もあります!





# 問い合わせ先等

## 緊急時の対応について

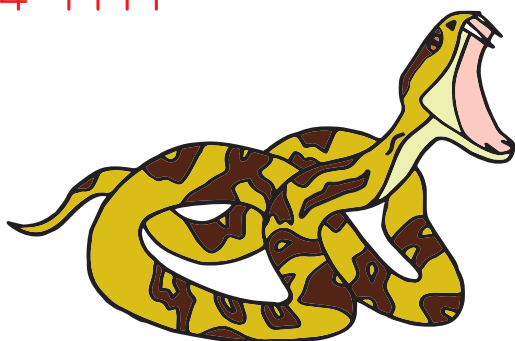
急病や大怪我をした場合は**119**へ！

沖縄県立北部病院（名護市大中）

TEL：0980-52-2719

北部地区医師会病院（名護市宇茂佐）

TEL：0980-54-1111



## 負傷したり、動けなくなっている生き物を発見したら

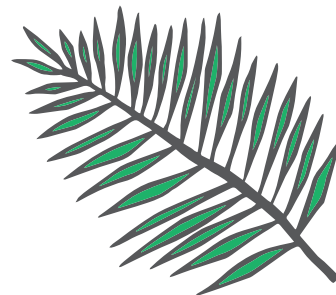
怪我や死亡した希少な生きものを見かけたら、以下のどちらかに連絡を。

環境省やんばる野生生物保護センター

TEL：0980-50-1025

クイナダイヤル（NPO法人どうぶつたちの病院 沖縄）

TEL：090-6857-8917



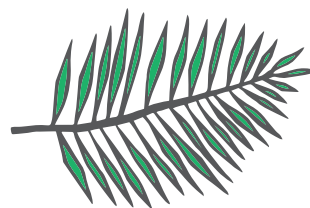
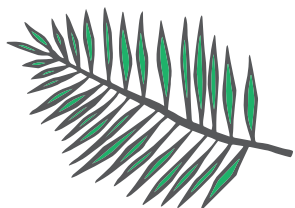
## 各種問い合わせについて

- ・ 国頭村観光協会
- ・ 大宜味村生物多様性センター運営協議会
- ・ 東村観光推進協議会

TEL：0980-41-2420

TEL：080-9851-0359

TEL：0980-51-2433



発行主体：やんばる3村世界自然遺産推進協議会（国頭村/大宜味村/東村役場）

初版 2018.08